

CentreCOM LM33-PCM-T
ユーザーズマニュアル2

BBS・インターネット接続ガイド

この冊子はLM33-PCM-TとWindows95のみでBBS・インターネットプロバイダへ接続するためのガイドブックです。市販の通信ソフトによらず、モデムによる通信の世界をご体験いただけます。



アライドテレシス株式会社

ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1996 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOM はアライドテレシス株式会社の商標です。

Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

NIFTY-Serve はニフティ株式会社の商標です。

BEKKOAME/INTERNET は株式会社ベッコアメ・インターネットの商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

1996年12月

Ver. 1.0 pl. 0

1st release

概要

表記について

本文中、下線付きで表示された文字列はWindows95 独自の機能・ファイルなどの名称です。それらは予め Windows95 の画面に表示されています。

(例) ハイパーターミナル、接続方法(U):

また、*イタリック体*で表記された文字列はお客様がWindows95 の設定画面で、入力または選択する設定項目です。

(例) *標準*、*日本(81)*

Windows95 の設定について

本書では通信に必要なWindows95の各種設定ユーティリティは既にインストールされているものとして説明しています。本文中に挙げられる設定ユーティリティがお客様の環境にインストールされていない場合は別途インストール作業を行ったのちに本書をお読みください。

ユーティリティのインストール手順についてはWindows95のマニュアル・ヘルプ等をご覧ください。

目次

1	BBS に接続してみましよう	4
1.1	接続までの流れ.....	4
1.2	準備	4
1.3	接続しましよ	5
2	インターネットに接続してみましよう	11
2.1	接続までの流れ.....	11
2.2	準備	11
2.3	接続しましよ	12

1 BBS に接続してみましょう

まずは、BBS[†]へ接続してみましょう。

ここでは、例としてNIFTY-Serve（ニフティ株式会社）のROAD5に接続します。

1.1 接続までの流れ

ハイパーターミナルを起動し、BBSに関する情報を設定します。

BBSに電話をかけます。

電話回線の接続が完了したら、BBSに接続（ログオン）します。

1.2 準備

- 1 **ハイパーターミナルはインストールされていますか？**
スタート プログラム アクセサリ ハイパーターミナルと進み、Hypertmアイコンが存在することを確認してください。（p.5の手順(1)を参照）
- 2 **BBSのユーザーIDをご用意ください。**
ユーザーIDの入手方法は各BBSにお問い合わせください。
本書ではNIFTY-ServeのユーザーIDを既已取得しているものとして説明しています。
- 3 **BBSのアクセスポイントの電話番号を調べておきます。**
本書ではNIFTY-ServeのROAD5（東京）の番号を使用します。

† 本書ではオンラインサービス・商用パソコンネットワークなどを総称して「BBS」と呼びます。

1.3 接続しましょう

- (1) スタート プログラム アクセサリ ハイパーターミナルと進むと HyperTerminalウィンドウが現れます。Hypertrmアイコンをダブルクリックして、ハイパーターミナルを起動して下さい。



- (2) 「接続の設定」ダイアログが表示されます。名前(N):に *NIFTY-Serve* と入力します。(必ず半角文字をご使用ください。) NIFTY-Serve の設定ファイル (Windows95 では「セッション」と呼びます) に使用するアイコンを アイコン(I): から選択し、OK をクリックします。



- (3) 「電話番号」ダイアログが表示されます。NIFTY-Serveに関する情報を入力してください。下の画面はROAD5のアクセスポイント(東京)に接続する場合の入力例です。接続方法(N)はAllied Telesis,K.K. LAN + MODEM PC Card (MODEM)を選択して下さい。(ただし、下の画面のように名前は途中までしか表示されていません)全ての項目を正しく入力していることを確認したら、OKをクリックします。

The dialog box titled '電話番号' (Phone Number) has a blue header bar with a question mark and close button. Below the header is a red telephone icon and the text 'NIFTY-Serve'. The main text says '電話番号の情報を入力してください。' (Please enter the phone number information.). There are four input fields: '国番号(C):' with a dropdown menu showing '日本 (81)', '市外局番(E):' with the value '03', '電話番号(P):' with the value '5710-6222', and '接続方法(N):' with a dropdown menu showing 'Allied Telesis, K.K. LAN + MODEM PC C'. At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

(参考)
電話番号のハイフン"-"は入力しなくても構いません。

- (4) 「接続」ダイアログが表示されます。ここで、すぐにダイヤルのプロパティ(D)...をクリックし、「ダイヤルのプロパティ」ダイアログを表示します。必要に応じて各項目の設定を行います。

The dialog box titled 'ダイヤルのプロパティ' (Dial Properties) has a blue header bar with a question mark and close button. It is divided into two sections. The '所在地情報' (Location Information) section includes '所在地' (Location) with a dropdown menu showing '標準' (Standard), and buttons for '新規(N)...' (New...) and '削除(D)' (Delete). Below are fields for '市外局番(C):' (Area Code) with '03' and '国番号(I):' (Country) with a dropdown menu showing '日本 (81)'. The 'ダイヤル方法' (Dialing Method) section includes '外線発信番号(O):' (Outgoing Number) with '市内' (Local) selected and '0' entered, and a '長距離' (Long Distance) checkbox. There are checkboxes for '通話カードを使用する(U):' (Use Calling Card) and 'キャッチホン機能を解除するための番号(N):' (Number to disable Catchphone function). Below are radio buttons for 'ダイヤル方法:' (Dialing Method) with 'トーン(D)' (Tone) selected and 'パルス(P)' (Pulse) unselected. At the bottom is a '電話番号:' (Phone Number) field with '0, 5710-6222'. At the very bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

所在地

- 登録名(D):** ホスト局の所在地を登録する名称を入力します。
自由な名称をつけられますが、標準のままでも構いません。
- 市外局番(C):** ホスト局の電話番号の市外局番を0から入力します。
例では03になります。
- 国番号(I):** 日本(81)を選択します。
-

ダイヤル方法

外線発信番号(O):

電話番号の前に入力しておきたい数字があれば入力して下さい[†]。

通話カードを使用する(U):

通常はチェックしないでおきます。

キャッチホン機能を解除するための番号(W):

通常はチェックしないでおきます。

ダイヤル方法:

お使いの電話回線がプッシュ回線の場合は**トーン信号**を、パルスダイヤル回線の場合は**パルス信号**を選択してください。

全ての設定を終えたら、OKをクリックします。

- (5) 再び「接続」ダイアログが表示されます。表示されている内容を確認の上、間違いがなければ、ダイヤルをクリックしてNIFTY-Serveに電話をかけます。



- (6) 電話回線への接続が始まると、「接続」ダイアログは下の画面のように変わります。状況の欄は「接続中」「ダイヤル中」と接続の状況を表示します。



† 手順(4)の画面は外線を0(ゼロ)発信で使う場合の入力例です。0発信の場合は"0,"のように","(コンマ)を添えておくことをおすすめします。","と電話番号の間にはスペースを入れてください。

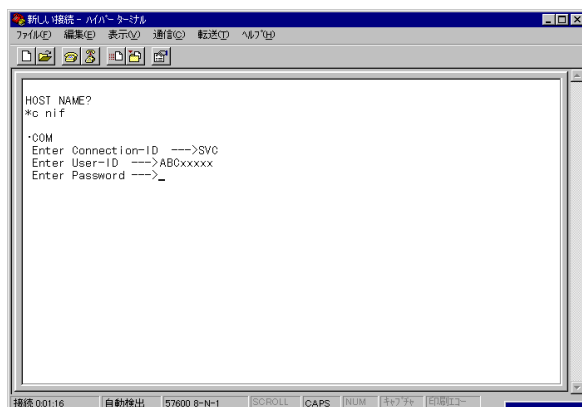
話し中の場合は、状況の欄に「通話中」と表示されます。少し時間をおいて
今すぐダイヤルをクリックし、再び接続を試みてください。



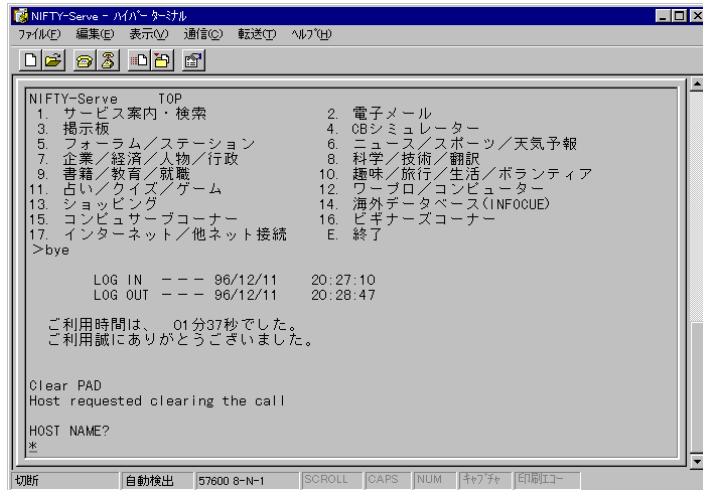
- (7) 接続が完了すると、「接続」ダイアログが消え、ハイパーターミナルのターミナルウィンドウがアクティブになります⁺。下の画面は接続が完了し、まだ何も入力がない状態です。



- (8) リターンキーを押してください。NIFTY-Serveはいろいろな項目の入力を促してきますので適切な文字列を入力してください。(下の画面は入力の一列です。詳細はNIFTY-Serveのマニュアルをご覧ください。)



- (9) 入力したパスワードが正しいものとして認識されると、NIFTY-Serve の TOP 画面が表示されます。これで NIFTY-Serve への接続は完了です。
- (10) NIFTY-Serve からログアウトするには、「>」のあとに *bye* または *off* と入力します。



この段階では電話回線との接続はまだ切断されていません。電話回線を切断するには HOST NAME? のあとに *OFF* と入力して下さい。ターミナルウィンドウ左下の 接続 の欄が 切断 の表示に変わります^{††}。

- (11) ハイパーターミナルを終了します。ファイル(F)メニューのハイパーターミナルの終了(Alt+F4)を選択します。次のダイアログが表示されたら、はい(Y)をクリックしてNIFTY-Serveの設定ファイル(セッション)を保存して終了します。



† ターミナルウィンドウが表示されるタイミングは モデムのプロパティ... で設定します。この例ではターミナルウィンドウは Hypertm アイコンをクリックした段階で「新しい接続 - ハイパーターミナル」の名称で画面に表示されています。

†† 通信(C)メニューの 接続・切断 コマンドは BBS へのログイン・ログアウトを実行します。

- (12) HyperTerminalウィンドウには新たにNIFTY-Serveアイコンが表示されています。次回からはこのNIFTY-Serveアイコンをクリックするだけで自動的にNIFTY-Serveに接続できるようになります。
ターミナルウィンドウの名称は「NIFTY-Serve - ハイパーターミナル」に変わります。



† セッションの保存後に各設定値を変更する場合は手順(5)の「接続」ダイアログで変更(M)...をクリックして下さい。

2 インターネットに接続してみましょう

次にインターネットに接続するためにインターネットプロバイダ(以下、「プロバイダ」と表記)にダイヤルアップ接続します。

ここでは、例としてbekkoame(株式会社ベッコアメ・インターネット)に接続します。なお、接続する手順はプロバイダによって異なります。実際に接続する際にはプロバイダから提供されるマニュアルを熟読してください。

2.1 接続までの流れ

ダイヤルアップネットワークを起動し、プロバイダに関する情報を設定します。

プロバイダに電話をかけます。

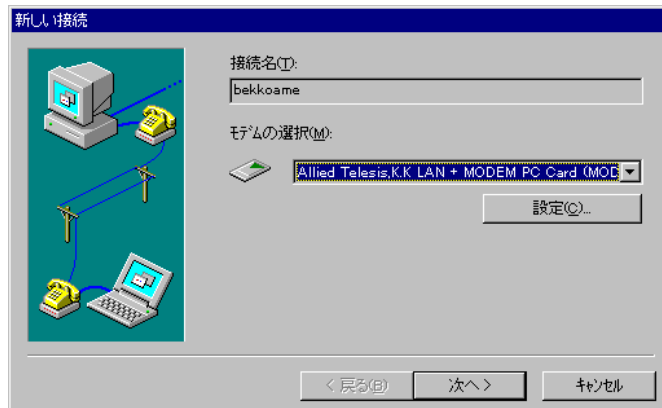
電話回線の接続が完了したら、必要なソフトを起動して、インターネットのサービスを利用します。

2.2 準備

- 1 ダイヤルアップネットワークはインストールされていますか
スタート プログラム アクセサリ と進み、ダイヤルアップネットワークがあることを確認してください。
- 2 ダイヤルアップアダプタはインストールされていますか
スタート 設定 コントロールパネル と進み、ダイヤルアップアダプタがあることを確認してください。
- 3 TCP/IP はインストールされていますか
スタート 設定 コントロールパネル ネットワーク ネットワークの設定 と進み、TCP/IP を選択してあることを確認してください。
- 4 **プロバイダのユーザー ID (アカウント) をご用意ください。**
ユーザー ID の入手方法は各プロバイダにお問い合わせください。
本書では bekkoame のユーザー ID を既に取得しているものとして説明しています。
- 5 **プロバイダのアクセスポイントの電話番号を調べておきます。**
- 6 **WWW ブラウザソフトなどの必要なソフトをインストールしておきます。**

2.3 接続しましょう

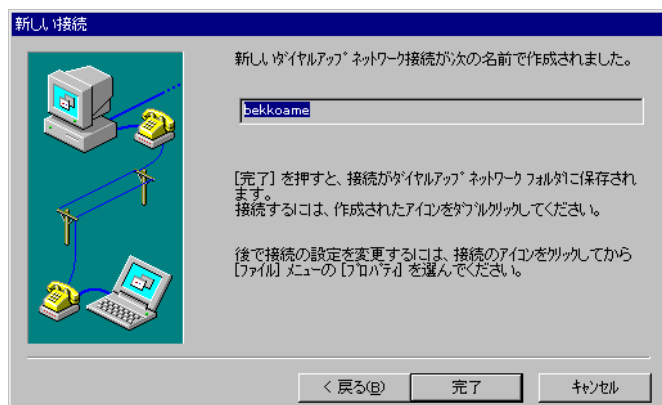
- (1) スタート プログラム アクセサリ ダイヤルアップネットワークと進み、「新しい接続」アイコンをダブルクリックします。
「新しい接続」ダイアログが表示されます。接続名(T):として *bekkoame* を入力し、モデムの選択(M):は *Allied Telesis,K.K. LAN + MODEM PC Card (MODEM)* を選択して、次へ> をクリックします。



- (2) 接続先プロバイダの電話番号を市外局番・電話番号・国番号の順に入力します。市外局番(R):は "0" の次の数字から入力することにご注意ください。



- (3) 下の画面が表示されたら内容を読んだ上で、完了をクリックします。



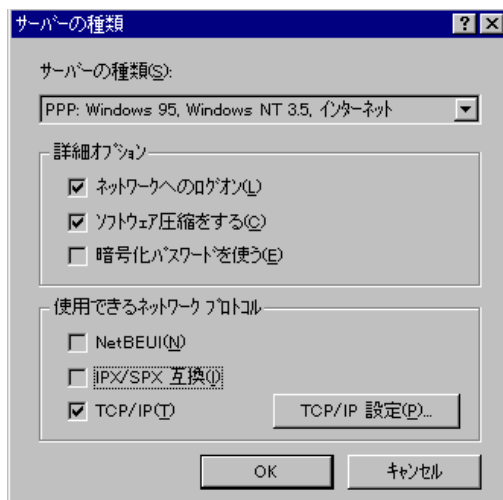
- (4) 「ダイヤルアップネットワーク」に bekkoame の設定ファイルが作成されています。bekkoame アイコンを選択して ファイル(F)メニューから プロパティ ... コマンドを選択します。



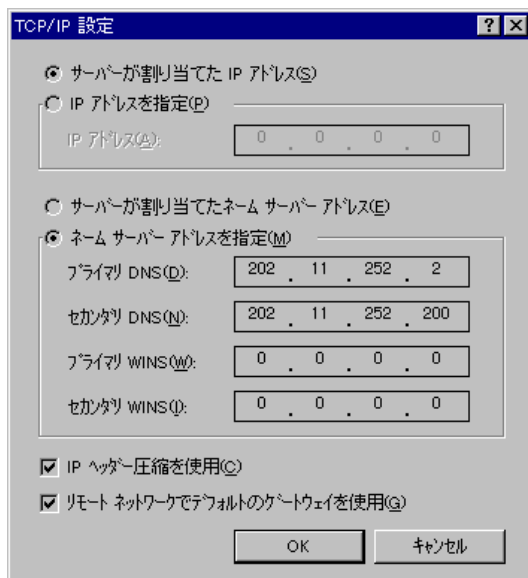
- (5) bekkoame ウィンドウが表示されます。サーバーの種類(T)... をクリックしてください。



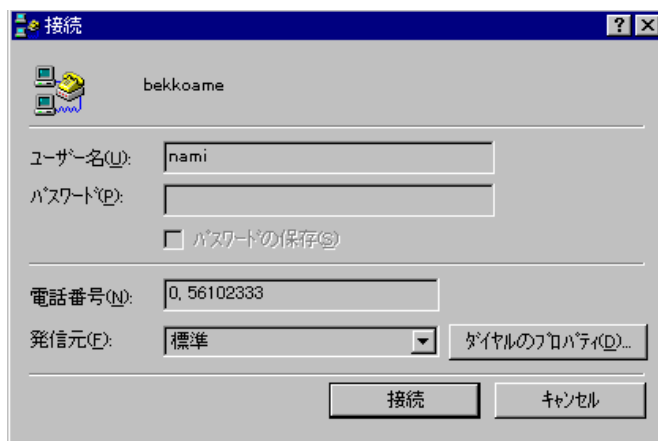
- (6) 「サーバーの種類」ダイアログが表示されます。サーバーの種類(S): で PPP; Windows 95, Windows NT 3.5, インターネットを選択し、使用できるネットワークプロトコルは TCP/IP をチェックしてください。



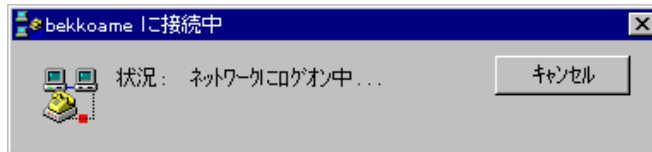
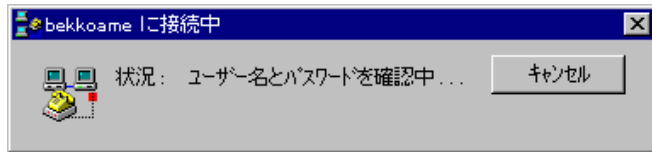
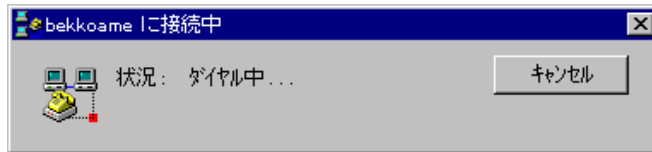
- (7) 「TCP/IP 設定」ダイアログが表示されます。サーバーが割り当てた IP アドレス(S)をチェックします。また、ネームサーバーアドレスを指定(M)をチェックし、プロバイダから提供される値を入力します。(下の画面は一例です。)



- (8) 「TCP/IP 設定」ダイアログ 「サーバーの種類」ダイアログ 「bekkoame」ダイアログの順にOKをクリックしながらダイアログを順番に閉じます。以上で設定は終わりました。つづいてプロバイダに接続します。
- (9) 「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウに戻り、bekkoameアイコンをダブルクリックします。「接続」ダイアログが表示されたらユーザー名とパスワードを入力してください。



(10) 接続が開始されます。下のダイアログが表示されます。



(11) 接続が完了すると「ダイヤルアップ ネットワーク(bekkoame)」ダイアログが表示されます。



(12) WWWブラウザなどのソフトをを起動します。WWWブラウザをご使用の場合にはWWWブラウザによりホームページをみることができます。

WWWの他にもインターネットでできるサービスは数多くあります。また、bekkoameの他にも現在ではいろいろなプロバイダが普及しています。目的に合った環境をお選びの上、LM33-PCM-Tで様々なサービスをご体験下さい。

